



©yoshikawa

平成30年度吉川市の

わかりやすい予算書

～予算はまちづくりの設計書～

市民の皆さんからお預かりしているお金の使い道などを
わかりやすくご説明します。



吉川市

吉川市のわかりやすい予算書

市の予算は、市民の皆さんのものであり、市には毎年度の予算について

市民の皆さんに説明する責任があります。

市役所が法律に基づいて作成する予算書は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然と並んでいて

わかりにくい作りとなっているため、この「わかりやすい予算書」では、表やグラフをまじえながら

わかりやすくお知らせすることを心掛けています。

目次

基礎知識編	3ページ
歳入編	5ページ
歳出編	6ページ
主要事業編	7ページ

※表示単位未満を四捨五入しているため、足し上げた数値と合計が一致しない場合があります。

● 中学校建設事業

新中学校名が「吉川中学校」に決まり、平成30年度から約2か年をかけて校舎等の建設を進め、平成32年4月の開校を目指します。

・・・建設事業費の主な内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

62億4,394万円

年度	事業費	財源			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
H29(用地購入)	20億 3,037万円		20億 3,030万円		7万円
H30(建築工事)	11億 3,790万円	2億 9,012万円	7億 9,140万円	5,638万円	
H31(建築工事)	30億 7,568万円	7億 121万円	23億 7,280万円	167万円	
合計	62億 4,394万円	9億 9,133万円	51億 9,450万円	5,805万円	7万円



※このページのイラストは「吉川中学校の完成イメージ」です。

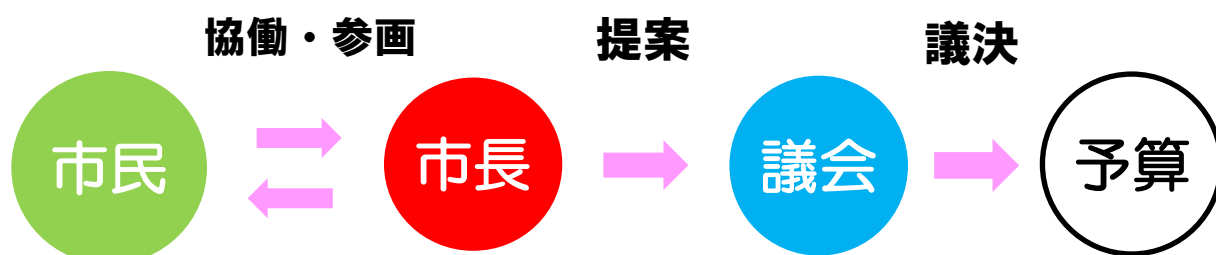
Q そもそも、予算とはなんですか？

A. 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間(4月から翌年3月まで)にどのくらいの収入があるか、その収入を元にしてどのような行政サービスを行うかを計画し、その費用を見積もります。

Q 予算はどのように決まるのですか？

A. 市の担当部局が、市民の皆さんからのご意見などを考慮して、1年間の行政サービスを検討します。市長は、担当部局との調整を重ね、予算案としてまとめ、市議会に提出します。市議会議員は、提案された予算案を審議した上で、市議会の議決によって予算を決めます。



Q

平成30年度の吉川市の予算は？

A. 一般会計、特別会計、企業会計の予算を合わせると、

391 億 2,751 万円になります。

一般会計

228 億 9,696 万円

特別会計

139 億 492 万円

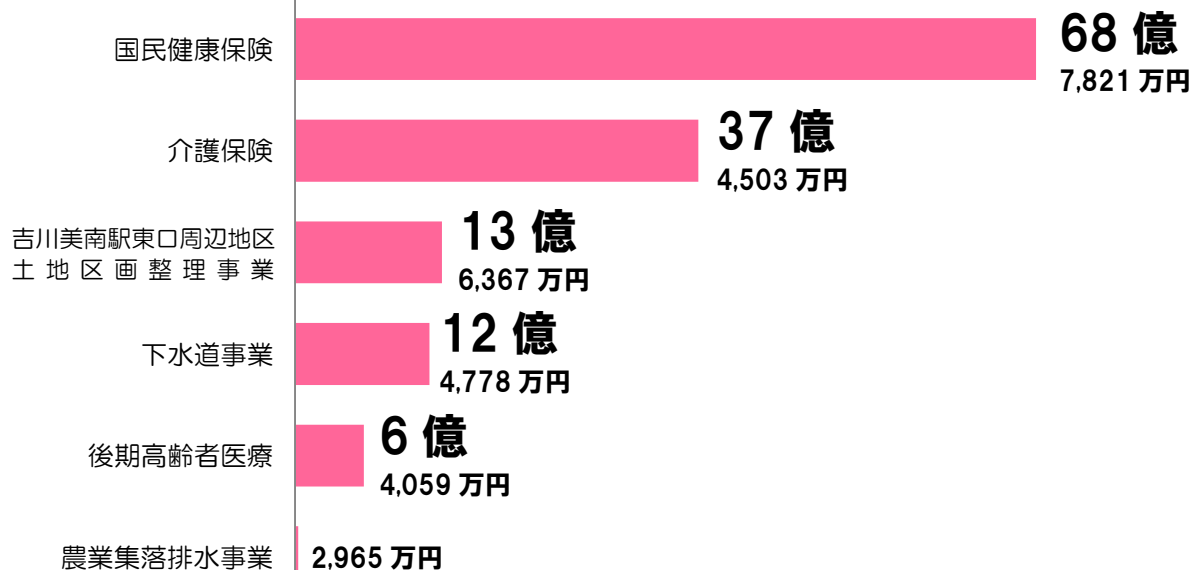
公営企業会計

23 億 2,562 万円

福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。

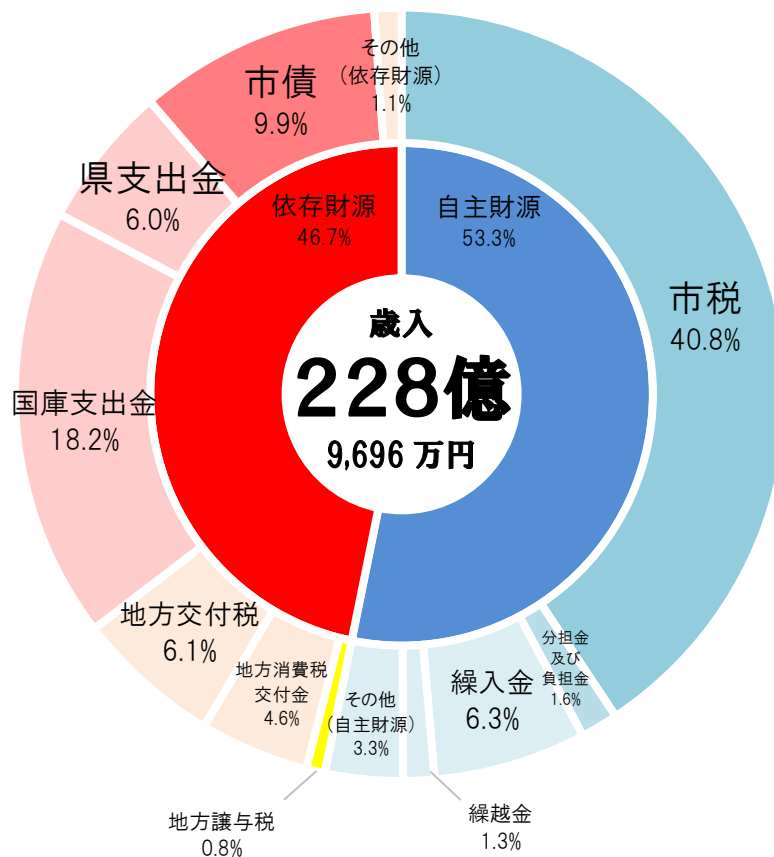
特定の目的の会計で、吉川市には6つの会計があります。

市が経営する企業の会計で、吉川市には水道事業会計があります。



Q 平成30年度の吉川市の予算は？

A. 一般会計の歳入には、市税や国・県からの支出金、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。



～依存財源～

吉川市が国や県などに依存するかたちで調達する財源です。

●市債 22億7,040万円

大規模な工事などの事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。

●国庫・県支出金 55億3,295万円

皆さんが国や県に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために地方公共団体に交付されます。

●地方交付税 14億円

皆さんが国に納めた税金の一部です。一定の割合に応じて地方公共団体に交付されます。

●地方譲与税 1億8,100万円

国税として徴収した特定の税目の収入の一部が、一定の基準に基づいて地方公共団体に譲与されるものです。

～自主財源～

吉川市が自らの権能に基づいて自主的に収入できる財源です。

●市税 93億4,458万円

市民の皆さんから吉川市に納めて頂く税金です。市民税、固定資産税などがあります。

●分担金及び負担金 3億6,109万円

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

●繰入金 14億4,982万円

一般会計と特別会計の間で相互に資金運用するためのお金や、各種基金(市の貯金)を取り崩して使うためのお金です。

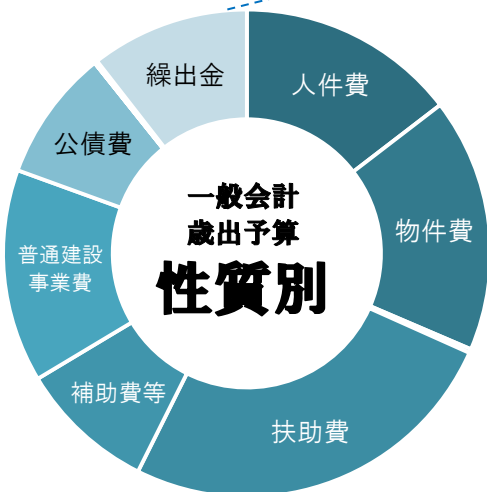
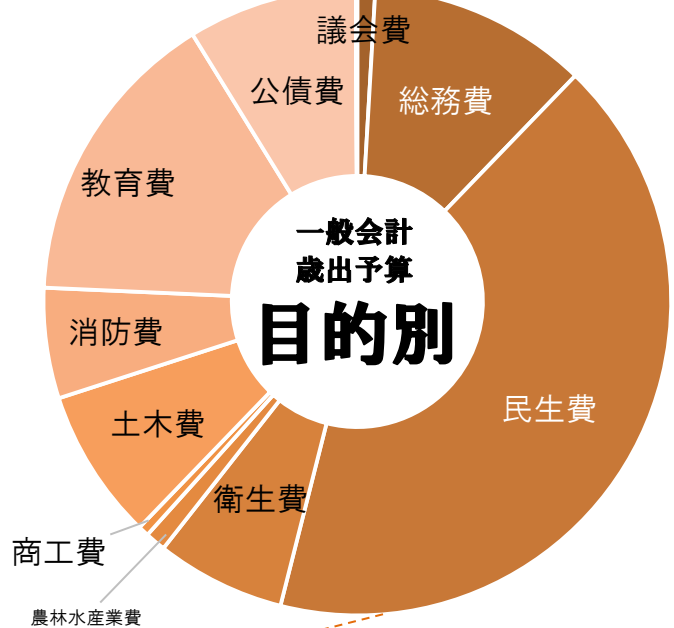
●繰越金 3億円

前年度の支出を差し引いて余ったお金を、今年度の財源とするために繰り越した分のお金です。

Q 平成30年度の吉川市の歳出は？

A. 歳出は12の目的に分けられ、一般会計 228 億 9,696 万円のおよそ 41.9%が児童手当や保育委託料、障がい・高齢福祉サービスなどの民生費で 95 億 8,913 万円となっています。また、性質別など違う角度から見ることで、吉川市の現在の状況などを知ることができます。

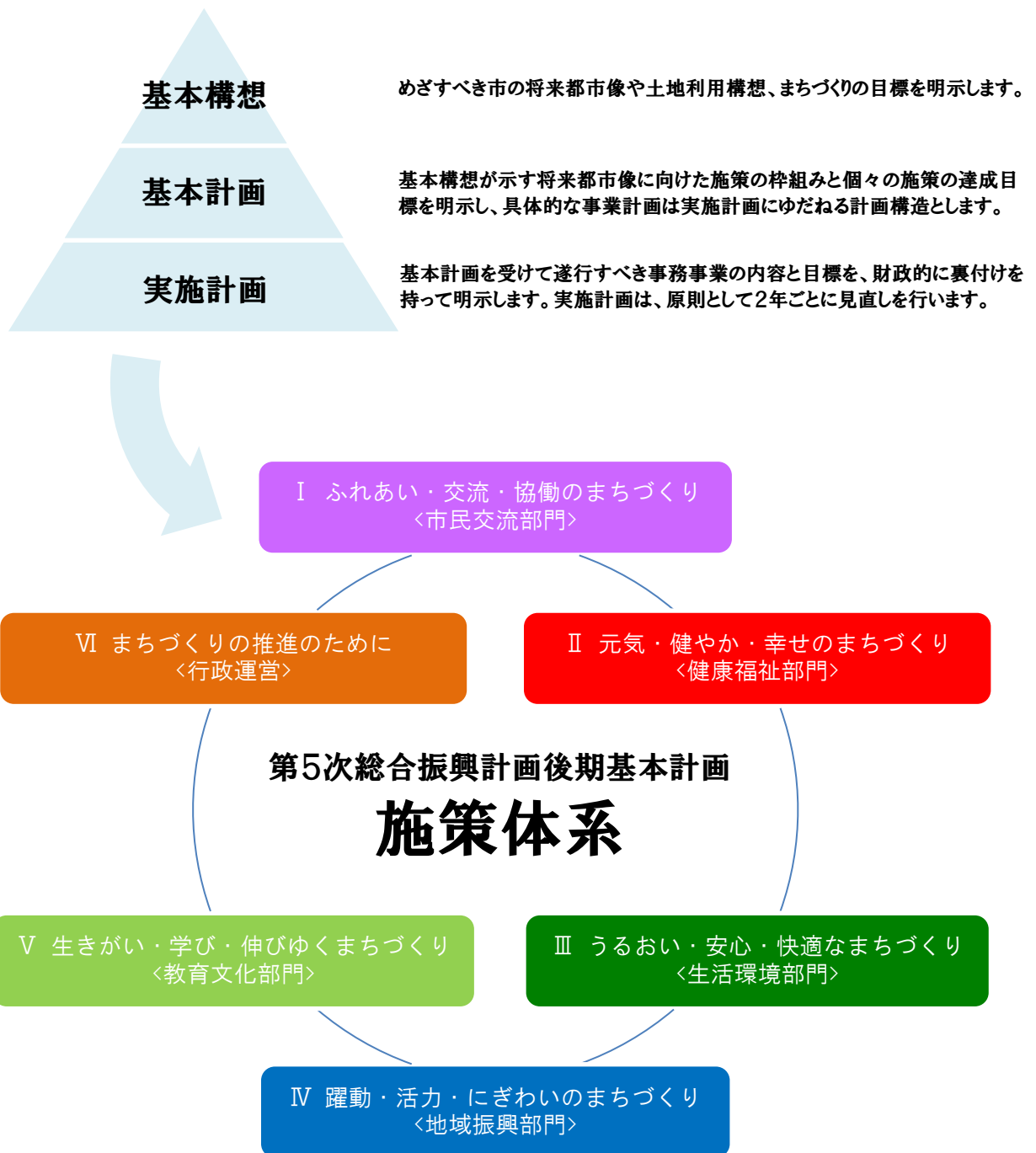
- **議会費** **2 億 1,171 万円**
市議会の運営に必要な経費です。
- **総務費** **25 億 9,709 万円**
市役所の全体的な仕事に必要な経費です。
- **民生費** **95 億 8,913 万円**
社会福祉や児童福祉に必要な経費です。
- **衛生費** **15 億 3,081 万円**
医療や環境保全などに必要な経費です。
- **農林水産業費** **2 億 4,400 万円**
農業の振興や普及に必要な経費です。
- **商工費** **1 億 2,630 万円**
商工業の振興などに必要な経費です。
- **土木費** **17 億 9,255 万円**
各種公共施設の整備などに必要な経費です。
- **消防費** **13 億 803 万円**
防災、消防などに必要な経費です。
- **教育費** **34 億 7,468 万円**
学校教育、社会教育などに必要な経費です。
- **公債費** **20 億 732 万円**
借入したお金の返済に必要な経費です。
- **諸支出金** **33 万円**
ほかの支出に含まれない経費です。
- **予備費** **1,500 万円**
緊急の支出に充てるために必要な経費です。



- **人件費** **34 億 562 万円**
職員の給与などに係る経費です。
- **物件費** **38 億 7,132 万円**
光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などの経費です。
- **維持補修費** **6,014 万円**
市が管理する施設等の効用を維持するための費用です。
- **扶助費** **59 億 154 万円**
子育て支援、障がい者支援、生活保護などに係る経費です。
- **補助費等** **20 億 7,610 万円**
団体への補助や一部事務組合に対する負担金などの経費です。
- **普通建設事業費** **33 億 8,344 万円**
道路や学校の改修など都市基盤の整備に係る経費です。
- **積立金** **28 万円**
基金(貯金)の積み立てに係る経費です。
- **貸付金** **3,000 万円**
中小企業資金融資など貸付の事業に係る経費です。
- **繰出金** **21 億 4,619 万円**
特別会計の収入を補うための経費です。

Q 平成30年度はどのような事業を行う？

A. 吉川市で平成30年度に行われる事業の一部を、第5次総合振興計画・後期基本計画の施策体系別にご紹介します。総合振興計画とは、吉川市の目指すべき将来都市像やまちづくりの目標の実現のため、市政運営の長期的な指針を示すことを目的として策定するもので、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成しています。



I ふれあい・交流・協働のまちづくり〈市民交流部門〉

●市民参加推進事業

共にまちを想う市民発想からなる「みらいステップアップ助成金」や「市民シンクタンク」を引き続き展開し、市民と共にまちづくりを行います。

227万円

【財源内訳】 一般財源…227万円

・・・主な事業内容・・・

継続

吉川市みらいステップアップ助成金

市民参画・協働に係る研修会

市民参画審議会

市民活動保険料



ステップアップ助成金
プレゼンテーション発表会

●男女共同参画推進事業

「市民シンクタンク」からの提言による事業として「女性仕事講座とワークショップ」を開催するなど、女性活躍、男女ともに多様な働き方を推進します。

205万円

【財源内訳】 国庫支出金…68万円
一般財源…138万円

・・・主な事業内容・・・

新規

女性仕事講座・ワークショップ

継続

配偶者暴力相談支援センター相談員配置

配偶者暴力被害者緊急支援助成



女性の視点で災害を
考える講演会
(平成29年度開催)

●国際交流推進事業

地域の多文化共生をさらに育むとともに、友好提携市レイクオスエゴ市のほか、ベトナム、台湾などアジアに関する事業を行う市民団体の支援を行うなど、国際交流の輪を広げてゆきます。

384万円

【財源内訳】 一般財源…384万円

・・・主な事業内容・・・

新規

多文化共生講師謝礼

継続

青少年親善訪問団派遣

日本語教室ボランティアスタッフ養成講座

吉川市国際友好協会助成



ベトナム day
(平成29年度開催)

II 元気・健やか・幸せのまちづくり〈健康福祉部門〉

●こども発達センター整備事業

「こども発達センター」について、保健センター2階部分の改修を行い、児童発達支援事業をメインとした子どもたちの療育の拠点として整備を進めます。

1,031万円

【財源内訳】 地方債…460万円
基金…466万円
一般財源…105万円

・・・主な事業内容・・・

新規

こども発達センター施設整備工事

給食運搬用車両購入



こども発達センター

●児童健全育成事業

「子育てに関するニーズ調査」を行うとともに、子どもの貧困対策については地域の関係支援団体などで構成する会議を立ち上げて、推進計画を策定します。

1,554万円

【財源内訳】 国県支出金…490万円
その他…2万円
一般財源…1,062万円

・・・主な事業内容・・・

新規

子ども子育て支援事業計画策定ニーズ調査

子どもの貧困対策推進計画策定

継続

産前・産後ヘルプサービス利用助成

家庭児童相談員配置

ホームスタート事業

●保育委託事業

保育士確保策として、「宿舍借り上げに対する支援」や「奨学に要する経費の返済に対する補助」などを新たに実施します。

19億2,944万円

【財源内訳】 国県支出金…11億1,298万円
地方債…9,760万円
その他…2億3,845万円
一般財源…4億8,042万円

・・・主な事業内容・・・

新規

認定こども園整備事業費補助

拡充

民間保育所特別保育事業費補助（保育士の宿舍借り上げ支援、保育士の奨学金返済に対する補助）

継続

民間保育所保育委託

家庭保育室運営委託

民間保育所整備事業費補助

災害用備蓄物資購入



川村学園女子大学
保育に関する協定

Ⅲ うるおい・安心・快適なまちづくり〈生活環境部門〉

● 建築行政事業

大地震による建築物の倒壊被害の軽減を図るため、耐震化に関する意識や助成制度について周知啓発を積極的に行い、既存建築物の耐震改修を促進します。

215万円

【財源内訳】 国庫支出金…91万円
一般財源…124万円

・・・主な事業内容・・・

新規

住宅建物耐震改修に係るダイレクトメール郵送

継続

住宅建物耐震改修補助

住宅建物耐震診断補助

● 防災対策事業

「自助・共助の意識の向上」「将来にわたる地域減災の担い手の育成・発掘」を目指し、減災講演などの事業を継続推進するとともに、市街化調整区域である三輪野江小学校区で大地震を想定し実践的な訓練を実施します。また、災害時における飲料水・生活用水の確保に向け、人口増加の進んでいる武蔵野線以南の吉川中学校に耐震性貯水槽を整備するとともに、激甚化する災害を踏まえ、市民の安全安心をより高めるため、地域防災計画の改訂を行うなど「減災対策」の強化を進めます。

1億8,301万円

【財源内訳】 国庫支出金…2,202万円
地方債…1億2,180万円
一般財源…3,919万円

・・・主な事業内容・・・

新規

地域防災計画改訂

電話による緊急情報一斉伝達収集システム使用

耐震性貯水槽設置工事

デジタル防災行政無線システム移設等工事

耐震性貯水槽保守点検

継続

防災講演会

災害用備蓄物資購入

減災プロジェクト

防災行政無線電話応答サービス

家具転倒防止金具取付

自主防災組織補助

防災気象情報サービス提供委託

防災会議



第1回減災プロジェクト
in 美南小学校区
(平成28年度実施)

IV 躍動・活力・にぎわいのまちづくり〈地域振興部門〉

●公共交通機関整備改善推進事業

平成29年12月より試行的に実施を始めた「タクシーチケットによる高齢者の移動手段の確保策」を継続するとともに、バス路線網の更なる充実など、移動手段の確保に取り組めます。

2,833万円

【財源内訳】一般財源…2,833万円

・・・主な事業内容・・・

新規

タクシー利用助成（平成29年12月より実施開始）

継続

路線バス運行経費補助

●農業者支援に関する事業

- ・農業後継者確保育成事業
- ・中核担い手農家育成事業
- ・農業振興事業

農業法人化やGAP・HACCPの認証取得など経営意欲のある農業者への支援を推進するとともに、新たな担い手確保対策として「農業PRブックレット」を若手農業者と共動制作します。

1,598万円

【財源内訳】 国県支出金…675万円
その他…75万円
一般財源…848万円

・・・主な事業内容・・・

新規

農業者・農産物PR冊子制作

法人化、GAP・HACCP取得経費補助

継続

認定農業者支援対策事業費補助

農業次世代人材投資資金

農業近代化資金利子補給

吉川産米販売促進協議会事業費補助

6次産業商品開発支援事業費補助

全国ねぎサミット参加



全国ねぎサミット

●商工業に関する事業

- ・商業活性化推進事業
- ・工業団体支援事業
- ・ふるさと納税推進事業

特色ある商品を地域ブランドとして展開を図る「大吉ブランド」認証制度や、新製品開発、海外取引を推進する企業への支援制度を設けるなど、産業の活性化を図ってゆきます。

1,651万円

【財源内訳】一般財源…1,651万円

・・・主な事業内容・・・

新規

吉川大吉ブランド認定

産業振興会議

産業振興推進事業費補助

継続

商業活性化推進事業費補助

一店逸品事業費補助

なまずサミット参加

産業フェア開催

工業活性化推進事業費補助

ものづくり体験教室

ふるさと納税返礼品購入



産業フェア

V 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり<教育文化部門>

●社会教育推進事業

「文藝よしかわ」を引き続き刊行するとともに、一流の音楽家による学校での授業やクラシックコンサートを開催します。また、芸術文化事業を様々な課題解決への総合的政策として展開するため、有識者を招いて検討を進めます。

931万円

【財源内訳】その他…49万円
一般財源…882万円

・・・主な事業内容・・・

新規

音楽コンサート開催

(仮称)文化芸術推進計画策定

文藝よしかわに係る動画作成

継続

家庭教育学級交付金

地域寺小屋事業交付金

成人式実行委員会交付金

社会教育団体補助

文藝よしかわに係る経費

市民文化祭運営交付金

放課後こども教室事業



放課後こども教室

●教育振興事業、教育指導推進事業

「学校教職員の負担軽減」を目的として、授業で使用するプリント印刷、教材や機材の準備などの業務を行う「学校事務支援員の配置」や、小中学校の教職員が使用する「校務支援システムの導入」により、教員の業務量の軽減を図り、児童生徒に向き合う時間を確保し、教育効果を高めてゆきます。

1億2,701万円

【財源内訳】国庫支出金…158万円
その他…1万円
一般財源…1億2,543万円

・・・主な事業内容・・・

新規

学校事務支援員配置

校務用パソコン借上等

生徒用パソコン借上

継続

教育指導支援員配置

スーパーバイザー講師謝礼

教材備品購入

要保護準要保護生徒援助費補助

特別支援教育就学奨励費補助

なまずを用いた総合学習

特色ある教育推進事業交付金

VI まちづくりの推進のために〈行政運営〉

● 広報事業

より多くの方々に手にしていただけるように広報よしかわを充実させるとともに、市政情報をタイムリーに市民の皆さんへ伝えるため、市政動画の配信と平成29年10月から市民の協力のもと開始した「FM こしがや」でのラジオコーナー「金のなまず」をさらに充実させてゆきます。

836万円

【財源内訳】 その他…168万円
一般財源…668万円

……主な事業内容……

継続

ラジオ番組制作

市政動画配信

広報よしかわ印刷製本

データ放送サービス使用



ラジオ番組放送

● 新庁舎建設事業

平成28年度より建設を進めてきました新庁舎は平成30年3月20日に完成の運びとなり、竣工式を開催するとともに、市民の皆さんにも新庁舎をご覧いただく見学会を開催します。そして、業務開始の5月7日からは新庁舎を新たなまちづくりの拠点として、市民の皆さんとともに「価値ある未来」を築いてゆきます。

5億5,785万円

【財源内訳】 基金…5億4,571万円
一般財源………1,215万円

……主な事業内容……

新規

新庁舎開庁式典

新庁舎引越業務

窓口電算システム等移設

管理用備品購入

旧庁舎解体撤去工事



市役所(旧庁舎)



市役所(新庁舎完成イメージ)

～市長からのメッセージ～



皆さんの暮らしに直結する「まちの予算」。それを皆さんに出来る限りわかりやすくお伝えしようと、この「わかりやすい予算書」を作成しました。

平成30年度の予算編成は、

- ・吉川市のまちづくりの計画である「総合振興計画」と「総合戦略」の推進
- ・市民との真の共働

を支柱とし、「取捨選択」・「チャレンジ」・「スピード感」を意識した事業計画の下、政策のさらなる充実化・効率化を図るために、部署を越えた「横断的な事業展開の推進」を方針として示しました。

ここでは、平成30年度に、さらに力を入れてゆく事業についてご紹介します。

市民との共働

市の大きな課題について市民の皆さんと意見交換を行う「市長キャラバン」、地域や団体の課題解決に共に取り組む「どこでも市長」、子供達と共にまちづくりを考える「市長とランチミーティング」、様々なキャリアをお持ちの方々から政策提言をいただく「市民シンクタンク」、市民力・地域力のアップを目指す「みらいステップアップ助成金」など、平成30年度も市民の皆さんとの共働を進めてゆきます。

児童館30周年記念事業

開館30周年を迎える児童館「ワンダーランド」では年間を通じて記念事業を展開してゆきます。特に、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の協力の下、国際宇宙ステーションとリアルタイムで交信するイベントでは、子供達の宇宙への興味・関心を一層深めることが出来るのではないかと期待しています。また、特徴ある児童館の建物をよりアピールするとともに、西側広場を、子供達が自然にふれあい、豊かな遊びを創造出来る空間として整備してゆきます。

芸術文化の振興

「彩の国さいたま芸術劇場」と連携し、若者から高齢者までの市民が参加する「演劇ワークショップ」は、故郷川幸雄先生の後を継ぐ素晴らしい講師陣をお迎えし、これまで2年間にわたり開催してきており、昨年夏の舞台公演では多くの皆さんにご来場いただき、高い評価をいただきました。平成30年度においても、吉川市の芸術文化振興の旗手事業として推進すると同時に、「高齢者の健康長寿」・「子供達の表現教育」・「地域の絆づくり」など他の部署との連携を図る中で、芸術文化事業を様々な課題解決のための総合的政策として展開してゆきます。

川の郷・よしかわ

「川の郷・よしかわ」を取り戻そうと、市制施行20周年記念事業「川まつり」から毎年継続している親水事業。平成30年度は河川、環境のみならず、教育や文化、さらに農政まで含めた多くの部署の連携により、「大場川」を舞台とした川のイベントを予定しています。

障がい者地域生活支援

保護者をはじめとする関係者の皆さんとの意見交換を重ねる中で、これまでに、「専門相談員の配置」「市役所での就労体験」「屋内スポーツ大会開催」「ヘルプカード発行」など、新たな事業を展開してきました。平成30年度は「就労」と「住まい」をテーマとした検討委員会を立ち上げ、さらなる支援の充実を図ります。

平成30年度吉川市のわかりやすい予算書

【発行】吉川市

【お問合せ】吉川市 総務部 財政課

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川二丁目1番地1

電話 048-982-5967(直通)



©yoshikawa